

教科名	Dignity	科目名	Dignity
対象学年	中学1年	コース・選択	——
単位数	2単位	教科書 (出版社)	課題研究メソッドStart Book (啓林館) 言葉のワークブック 2 (つくば言語技術研究所)
学習目的	言語スキルの基礎を養う。また問いをたてる習慣を身につける。		
学習の基本項目	①主体的・協働的な学びに安心して向かうことができる学習集団を形成する。 ②生活や学習を通して感じた疑問から「問い」をたてる習慣を身につける。 ③パラグラフライティングの基礎を習得する。 ④言語スキルを磨くことで、物事の考え方や表現の仕方の基本を身につける。		
学習内容と流れ	学期・月等	単元	
	1学期	言語スキル	<ul style="list-style-type: none"> <li>対話スキルの向上を図り、自己理解と他者理解を深める。</li> <li>生活や学習を通して感じる疑問を大切に、「問い」を書きだす習慣を身につける。</li> <li>『レゴ® シリアスプレイ®』・『リフレクションカード』を通して、自由に意見を交換する楽しさを体験する。</li> <li>『問答ゲーム』を通して、自分の意見に根拠を添える習慣を身につける。</li> <li>パラグラフライティングの基礎を身につける。</li> </ul>
	2学期	言語スキル	<ul style="list-style-type: none"> <li>『説明』を通して情報整理力を習得し、伝達の型を身につける。</li> <li>『再話』・『物語』・『要約』を通して、文章の構造を意識する。</li> <li>パラグラフライティングの練習を重ねる。</li> </ul>
	3学期	言語スキル	<ul style="list-style-type: none"> <li>『絵の分析』『テキスト分析』を通して、コミュニケーション力を高めるとともに、観察力・即興力・批判的思考力を身につける。</li> <li>1年間の学びを振り返るとともに、自分の主張を論理的にまとめて発表する。</li> </ul>
学習の留意点	コミュニケーション力を向上させるとともに、自らの内にある疑問や意見を他者と共有し、解決を試みる。また、その結果を新たな「問い」の発見へとつなげられるようにする。		
評価の観点	①問う力 ②知る力 ③読む力 ④分析する力 ⑤書く力 ⑥伝える力 ⑦対話する力 ⑧貢献する力		

教科名	Dignity		科目名	Dignity
対象学年	中学2年		コース・選択	————
単位数	1単位		教科書 (出版社)	課題研究メソッドStart Book (啓林館) 言葉のワークブック 2 (つくば言語技術研究所)
学習目的	言語スキルを鍛錬し、研究スキルの基礎を養う。また、探究につながるような問いをたてられるようにする。			
学習の基本項目	①主体的・協働的な学びに積極的に向かうことができる学習集団を形成する。 ②生活や学習を通して感じた疑問から「すぐに答えが見つからない問い」をたてられるようにする。 ③言語スキルの更なる向上を目指す。 ④他者と協力しながら、問題の解決方法を考察する。			
学習内容と流れ	学期・月等	単元		
	1学期	言語スキル	・1年生で学習した言語スキルをベースに、更なる向上を図る。 ・生活や学習を通して感じる疑問を大切に、「すぐに答えが見つからない問い」をたてる。 ・『レゴ® シリアスプレイ®』を通して、お互いの主張を積極的に理解する姿勢を身につける。	
	2学期	言語スキル 研究スキル	・『新しい大学入試問題』を通して、コミュニケーション力・観察力・即興力・批判的思考力を深化させる。 ・『問いづくり』を通して、問いのたて方を習得する。	
	3学期	研究スキル	・これまで学んだ言語スキルを用いて、自ら立てた問いに対する主張をまとめ、プレゼンテーションを行う。	
学習の留意点	コミュニケーション力を向上させるとともに、自らの内にある疑問や意見を他者と共有し、解決を試みる。また、その結果を新たな「問い」の発見へとつなげられるようにする。			
評価の観点	①問う力 ②知る力 ③読む力 ④分析する力 ⑤書く力 ⑥伝える力 ⑦対話する力 ⑧貢献する力			

教科名	Dignity		科目名	Dignity
対象学年	中学3年		コース・選択	————
単位数	1単位		教科書 (出版社)	課題研究メソッドStart Book (啓林館) 言葉のワークブック 2 (つくば言語技術研究所)
使用教材	レゴブロック			
学習のねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・言語スキルのさらなる向上をめざす。</li> <li>・研究スキルを身につけ、問いを立てる力を育成する。</li> <li>・一連の研究活動を体験する。</li> </ul>			
学習内容と流れ	学期・月等	単元	ねらい	留意点
	1学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・言語スキル</li> <li>・研究スキル</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・『説明』を通して、1年次、2年次で学習した情報整理の方法・パラグラフ形式による表現方法を確認する。</li> <li>・修学旅行研修コースを含め各自の興味・関心に合わせて、問いづくりを行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・《すぐに答えの出ない問いづくり》をめざす。</li> </ul>
	2学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研究スキル</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夏休みの自由研究及び、修学旅行の調査から、新たな問いづくりを行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・《すぐに答えの出ない問いづくり》をめざす。</li> <li>・問いに対する仮説を立てることを見通した問いづくりを行う。</li> </ul>
	3学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研究スキル</li> <li>・プレゼンテーション</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自ら立てた問いに対する自己の主張をまとめ、プレゼンテーションを行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・習得した言語スキルをプレゼンテーションに活用する。</li> </ul>
学習の留意点・評価など	<p>コミュニケーション力を向上させるとともに、自らの内にある疑問や意見を他者と共有し、解決を試みる。また、その結果を新たな「問い」の発見へとつなげられるようにする。</p> <p>①問う力 ②知る力 ③読む力 ④分析する力 ⑤書く力 ⑥伝える力 ⑦対話する力 ⑧貢献する力</p>			
備考				

教科名	Dignity 「生き方を探る」～社会に参画し主体的に生きるために～					
対象学年	高校1年	コース・選択	_____			
単位数	1単位	教科書 (出版社)	_____			
使用教材	ワークシート各種					
学習のねらい	SDGsの探究を通して、研究方法を体験する。特に、問いを立てる力を育成することに重点をおく。					
特に習得されるべきスキル	<ul style="list-style-type: none"> <li>・問いを設定する力</li> <li>・調査をする力</li> <li>・情報を分析する力</li> <li>・問いにエビデンスを示して答える力</li> <li>・討論する力</li> </ul>					
学習内容と流れ	学期・月等	単元	学習内容	科学的思考	表現	協働
	4月	オリエンテーション 1	一年間の授業の予定、Dignityの目的、ルールを理解する。 安心安全の学習集団作りをする。			○
		SDGsの基礎知識	SDGsの目指す世界「誰も置き去りにしない世界」について知る。 17の目標の概要を知る。	○		
		LEGO® Serious Play®	17Goalsが示す問題の1つを解決する「ランドルフ先生の魔法のプレゼント」をブロックで作る。作ったモデルを説明することで、意味づけすることの意義を体感する。	○	○	○
	5月	ひとつ多い張り紙 (2コマ)	カードゲームを使って、17Goalsに関する張り紙(標語)をチームで創造する。		○	○
	6月	調べてみよう！わたしの服	服のタグに記載されている生産地や素材等の情報を読み取って分析する。	○	○	○
		デザイン思考で探究スキルを磨く (4コマ)	友達のペンケースのプロトタイプを創ることを通して、下記の探究スキルのトレーニングをする。 ・情報を収集する。 ・課題を設定する。 ・プロトタイプを創る。(課題に対する解決策を提案する。) ・解決策を検証する。 ・発表する。	○	○	○
	7月	身近なSDGs	各自が見つけた身近なSDGsを発表する。		○	
8月	リサーチ：個人	SDGsに関するキーワードや企業の活動について調べる。	○			

	学期・月等	単 元	学習内容	科学的思考	表現	協働
学習内容と流れ	9月	オリエンテーション 2	課題研究の意義や手順を知る。 問いからリサーチクエスチョンを導く方法を知る。 夏休みの個人リサーチの報告をする。	○	○	
		キャリアデザイン	Inspire Highを通して将来何をして社会に貢献したいかを考える。		○	
		チーム編成	チームを編成して、夏休みまでに各自が収集した情報を共有する。その上で、チームの研究テーマを考える。		○	○
	10月	リサーチ：チーム	問いをたてる。 調査項目のリストを作る。	○		○
		リサーチ：チーム（2コマ）	調査項目に関する情報を収集する。	○		
	11月	リサーチ：チーム	リサーチクエスチョン・仮説を設定し、リサーチの方法を考える。	○		○
		リサーチ：チーム（2コマ）	情報を収集して記録する。	○		
	12月	リサーチ：チーム（2コマ）	収集した情報を分析する。	○		○
	1月	キャリアデザイン	Inspire Highを通して将来何をして社会に貢献したいかを考える。		○	
				○	○	○
	2月	研究成果のまとめ（3コマ）	研究発表の準備をして発表する。	○	○	○
				○	○	○
		研究発表	1年2年合同Dignity研究発表会		○	○
		リフレクション	一年の活動をループリックを使って自己評価をする。	○		
	学習の留意点・評価など	質問力をつけることで、思考力を伸ばすことを意識化させる。評価は観点別で行い、評価の素材には、提出されたワークシートを用いる。				
備考						

教科名	Dignity 「生き方を探る」～社会に参画し主体的に生きるために～					
対象学年	高校2年	コース・選択	_____			
単位数	1単位	教科書 (出版社)	_____			
使用教材	ワークシート各種					
学習のねらい	1年生で習得したスキルを活用し、グループ研究を行う。研究を通して、研究法を学ぶとともに、問いを見いだす力や論理力・分析力・批判的思考力を養う。					
特に習得されるべきスキル	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発想力</li> <li>・問いを設定する力</li> <li>・わかりやすく理由や根拠を添えながら筋道を立てて意見を述べる力</li> <li>・批判的に資料を読み、判断する力</li> <li>・討論する力</li> </ul>					
学習内容と流れ	学期・月等	単元	学習内容	科学的思考	表現	協働
	1学期 4月	オリエンテーション 基礎リサーチ	・興味のある学問分野から自分の興味のあるキーワードを見つける。	○		
	5月		・キーワードについて調査し、探究のための問いを見つける			
	6月		・調査結果を個人で発表する。 ・自分／級友の発表について質疑応答する。	○	○	○
	7月		＜リサーチにむけて＞ (コースⅠ・Ⅱ) ・テキスト分析の手法を学ぶ ・思考ツールを知る (コースⅢ) ・実験／調査のリテラシーを学ぶ ・分析／考察の練習	○	○	○
	8月	キャリア教育	何か	○	○	
	2学期 9月	リサーチ	・グループ編成 ・研究分野決め ・先行研究調査	○		○
	10月		・リサーチクエスチョンの設定 ・調査方法の決定	○		○
	11月		・調査、分析、考察	○		○
	12月		・発表のための準備	○	○	○
	3学期 1月		・発表のための準備 ・クラス内研究発表会	○	○	○
	2月	小論文	・卒業小論文のための時間	○	○	
	3月		・1年の振り返り		○	
学習の留意点・評価など	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科学習で習得した知識を活かして、研究に取り組むように導く。</li> <li>・ここで行うリサーチが次年度取り組む卒業小論文につながることを望ましい旨を事前に周知する。</li> <li>・評価は観点別で行い、評価の素材には、提出されたワークシートなどを用いる。</li> </ul>					
備考						

教科名	Dignity 「生き方を探る」～社会に参画し主体的に生きるために～					
対象学年	高校 3 年	コース・選択	_____			
単位数	1 単位	教科書 (出版社)	_____			
使用教材	ワークシート各種					
学習のねらい	1 年生と 2 年生のグループ活動で習得した研究スキルを活用し、個々に研究に取り組む。研究を通して、問いを見いだす力や論理力・分析力・批判的思考力を養う。					
特に習得されるべきスキル	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発想力</li> <li>・問いを設定する力</li> <li>・わかりやすく理由や根拠を添えながら筋道を立てて意見を述べる力</li> <li>・批判的に資料を読み、判断する力</li> <li>・討論する力</li> </ul>					
学習内容の流れ	学期・月等	単 元	学習内容	科学的思考	表現	協働
	4 月	オリエンテーションとリサーチクエストの検討	1 年間の授業の予定を説明する。 小論文の書式や下書き、本稿の提出期限等を確認する。 自分の立てたリサーチクエストの妥当性を検討する。			○
		小論文の構成 仮説の設定	小論文の構成を確認する。 仮説を立て、リサーチクエストに答えるために収集すべき情報のリストをつくる。研究の方法を書く。 データを集め、情報カードに記録する。	○		
		接続詞の使い方	論文でよく使われる 5 種類の接続詞（逆説・並列・例示・言い換え・まとめ）の使い方を確認する。	○		
	5 月	パラグラフ・ライティング	パラグラフ・ライティングを練習する。			
		引用の方法	引用文の書き方を学ぶ。自分で作った情報カードを使って引用文の書き方を練習する。 データを集め、情報カードに記録する。	○		
		志望理由書	希望する学部学科の志望理由書を書き、大学で何を学びたいのか、その理由は何かを明確にする。これによって主体的な進路選択につなげる。			
	6・7月	下書き	小論文の下書きを書く。			
	8 月	本稿	本稿を書きあげる。			
	9 月	進路を考える	コース I は志望理由書を書く。 コース II Ⅲ は進路指導を行う。			
学習の留意点・評価など	<p>教科学習で習得した知識を活かして、研究に取り組むように導く。テーマの設定に際しては、希望する学部や学科との関連性を考慮して決めるよう示唆する。評価は観点別で行い、評価の素材には、提出されたワークシートを用いる。</p> <p>10月以降は 内部推薦で進学する生徒は、大学での授業に参加する。 受験をする生徒は、受験対策用の希望講座別授業を受ける。</p>					